

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回福津市公民館運営審議会
開催日時		令和6年8月22日(木) 13時30分から15時02分まで
開催場所		福津市中央公民館2階 研修室2
委員名		出席委員：安德尊博、幸坂由恵、高木陽一郎、佐藤香奈子、 増井久美子、漆谷慎一、田島勝彦
所管課職員職氏名		郷育推進課長：芹野文彦、中央公民館長：徳永理恵 公民館係長：瀧口純一
会 議	議 題 (内 容)	議 案 (1) 中央公民館の機能の再定義・再配置について (2) その他
	公開・非公開 の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	0人
	資料の名称	・ 会議次第 ・ 福津市中央公民館ホールの有効活用についての利用者アンケート結果 ・ 公共施設におけるホール機能の一本化に係る他自治体の動向 ・ 第3次福津市行財政改革大綱 ※一部、抜粋
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 会長挨拶

2. 議題

（1）中央公民館の機能の再定義・再配置について

議長：前回、中央公民館の機能の再定義・再配置について、説明がありました。本日は、皆様で色々なアイデアを出し合いたいと思います。

ホールの有効活用については、一定の条件があり、アイデアの実現についても可能、不可能というものがあります。そういったところも考えながら話をしていき、審議会としての答申を作り上げていく流れになってくるかと思います。

まず、「（1）中央公民館の機能の再定義・再配置について」、中央公民館を利用されている一般の利用者やサークルの方に対するアンケートの内容について、また、他の自治体の事例について、事務局から報告をお願いします。

事務局：「福津市中央公民館ホールの有効活用についての利用者アンケート結果」について、資料にそって説明する。

議長：ご質問のある方は、お願いします。

アンケートについては、質問がないということですので、続きまして、「公共施設におけるホール機能の一本化に係る他自治体の動向」の聞き取りについて、事務局から報告をお願いします。

事務局：「公共施設におけるホール機能の一本化に係る他自治体の動向」について、8つの自治体に聞き取りを行いました。（資料にそって説明）

議長：ご質問のある方は、お願いします。

委員：宗像市には、公共施設アセットマネジメント推進計画というものがあるということですが、福津市にも同じような計画はあるのですか。

事務局：「福津市公共施設等総合管理計画」があります。その計画とは、老朽化している施設が多くなってきている中、今後の公共施設のあり方について、中・長期的な視点で、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、公共施設等の最適な配置を実現するために作られたものです。

委員：中央公民館のホールが廃止になる理由とホールの利用状況、そして、ホール廃止後の計画について知りたいです。

事務局：配布資料の「第3次福津市行財政改革大綱 抜粋版」18ページに、主要な取組の一つとして「中央公民館の機能の再定義・再配置」が挙がっております。具体的に言いますと、福津市にはホールが2つ、カメリアと中央公民館にありますが、公共施設の選択と集中ということで、福津市は、重複する機能を統合していく方向性を示しており、ホール機能は、カメリアのホールに一本化することにしています。

ホールの利用状況ですが、第1回審議会の資料「令和5年度中央公民館利用状況について」に記載があります。令和5年度実績ですが、全体の利用者数は39,871人で、このうち、ホールの利用者数は10,322人で、全体の利用者数の11.2%を占めております。また、ホールの客席を除いた部分の「舞台」の利用者数は2,116人で、全体の利用者数の10.4%を占めております。

委員：維持管理費が収入額によって賄うことができているのか、という点を考えないといけないと思うのですが、収入はどうなっていますか。

事務局：昨年度の収入実績を持ち合わせていないので、確認させてください。

委員：支出の方はどうなっていますか。

事務局：ホール部分に係る支出については、例えば、光熱水費などホールの部分にいくらかかっているのか分けることができないものもあるので、正確な支出額を算出することはできないのですが、分かる範囲での維持管理経費としましては、舞台に設置しているピアノの保守点検委託料、ホール担当スタッフの人件費、舞台上の照明等の点検を行う舞台保守点検委託料があり、約8,100,000円となっています。

委員：中央公民館のホールを利用していた人がカメラアのホールを利用したいとなったときに、カメラアのホールは、十分余力を残しているという分析はされているのですか。

事務局：平準化すれば、希望者が利用できるようなパーセンテージになると思いますが、土日の利用希望が重なったりすることはあるので、全員が希望どおりに利用できる状況にはならないかと思います。

委員：中央公民館のホールを廃止するという決定は、どのような形で行われたのですか。

事務局：第3次福津市行財政改革大綱は公表されており、中央公民館のホール機能については、整理をしていくという方向性が決まっております。

委員：「第3次福津市行財政改革大綱」の答申には付帯意見もありますが、ホールの廃止について、市民の意見を聞きたいと思っているのでしょうか。それとも、ホールの廃止が決定事項であるならば、この付帯意見は何なのかと思います。

事務局：「第3次福津市行財政改革大綱」は、有識者や公募の委員で構成する審議会に諮り、審議会の答申を踏まえて作成されました。

担当課としましては、この場で、ホール機能を統合するのか、統合しないのかということとを諮るつもりはありません。市の方針である、この行財政改革大綱において、中央公民館のホール機能は、カメラアホールに一本化するという方向性を出しているのです、その取り組みの中で、機能の統合後に、新たな投資はしない形で、何か利活用できないかというのを模索しています。

委員：アンケート結果にもあるように、改修工事は多額の費用がかかるとありますが、床をフラットに改修し、体育施設や災害時の避難場所など、多目的に使えるような形にするのが良いのではないかと思います。

議長：カメラアの改修工事の計画ですが、何年ぐらいに改修工事が完了するのでしょうか。また、中央公民館のホールは、いつまで利用できるのでしょうか。

事務局：カメラアの改修工事は、令和7年度に予定しております。そのため、現段階では、中央公民館のホールは、令和7年度末まで利用することができます。カメラアホール複合文化センターの改修が完了したら、中央公民館のホールは閉鎖することになります。

議長：ホールの有効活用案についてですが、新たな投資はせず、最低限の照明は残し、それ以外の設備はなくなる前提で、考えていくことになります。

中央公民館のホールを有効活用するにあたり、舞台照明等を撤去するための費用もかかるかと思います。概算で良いので、どのくらい費用がかかるのか、お聞きできますか。

事務局：舞台の照明や舞台上部に吊るしている備品等を撤去するためには、概算で13,000,000円～14,000,000円くらいかかりそうです。

委員：カメラアのホールがあるのなら、中央公民館のホールは廃止して、不要になった維持管理費分を他のことにまわすという考え方も持てると思います。

議長：この審議会では、ホールを有効活用するのか、閉鎖するのかについて議論することが一番の目的です。有効活用するのなら、その具体策について話し合っていきましょう。

委員：フラットに改修して、天候に関係なく使用できる体育施設や災害のときの避難所として、多目的に使用できるようにするのが良いのではないかと思います。リハーサル室的な要素もあり、楽器の練習もスペースを広げられて利用しやすくなるのではないのでしょうか。

委員：ホールの有効活用をするとして考えたときに、学校として、学年単位で出し物などをする場として活用することはどうでしょうか。そのように活用するならば、移動手段が課題になりますので、市の公用バスを制限なしで利用できるようななどの工夫が必要だと思います。

委員：体育施設のように利用できるようなになればいいと思います。

委員：公民館は生涯教育の拠点であることを考えたら、教育の面で役立つような方向で考えて良いのではないかという気がします。

委員：災害時には、小・中学校も避難所になりますが、避難指示が解除されないまま、学校を再開しようとなったら、避難者が避難できるところがなくなります。そのようなとき、中央公民館のような施設に、体育施設のような平面があれば、避難場所の一つになるのではないかと思いますので、個人的には、ホールをフラットに改修するのを希望します。

委員：先ほど、分かる範囲での維持管理経費として、年間約8,100,000円と言われていましたが、私はホールを閉鎖して、その浮いた予算を貯めておき、災害時のための避難場所に改修するときや学校で舞台発表などができない状況の学校の子どもたちの交通手段のために補助を出すなどして、有効活用していくのが良いかと思います。

有効活用するには、必要経費がかかります。費用をかけることができないのであれば、閉鎖する方がよいと思います。

委員：このホールを持続可能にしていくために、最低限どういう形で残しましょうかというのが、今、ここで審議しなければならないことですよね。先ほど、予算の話が出ましたが、このホールの維持管理経費の約8,100,000円というのは、今後、予算が浮いたとしても、それを他のことにまわしましょうというのは、なかなか難しいのではないかと思います。

委員：ホールの前の座席の部分、10列目くらいまで舞台と同じ高さに改修するだけでも利用の幅が広がると思います。

議長：これまでの意見を整理すると、ステージは音楽などの練習場としての活用、ホール部分をフラットに改修し、体育施設や避難所など利用用途を広げる。また、学校は、交通手段が整えば、ホールを利用することも可能になるというものでした。

改修については、用途変更や消防法などの条件もあると思います。また、改修費用がどのくらいかかるかも分かりませんが、要望としては挙げていきましょう。

委員：有効活用を考える上での条件が厳しいので、予算的に、実現はなかなか難しいでしょう。学校としては、できるとしたら、現状のまま利用させていただくことかと思います。ただ、できる範囲で、公用バスを利用するハードルを下げてください、協力をお願いしたいと思います。あとは、利用者アンケート結果で、140人の方が回答されているようなりハースル室的な活用法しかないと考えます。

そして、中央公民館のホールをなぜ廃止するのか、廃止後、ホールをどのようにしていくのか、福津市行財政改革審議会の答申の付帯意見にあるように、市民に対して、タイムリーかつ丁寧な説明を行う必要があるのではないかと思います。

そのためにも、この場で、「福津市公共施設等総合管理計画」というものを示していただくと、皆さんは話しやすいのではないかと考えているところです。

議長：市民への丁寧な説明ということですね。ホール機能を廃止し、廃止後はどのように有効活用していくのかについて説明をしていくと、市民の理解を得られやすいかもしれません。「福津市公共施設等総合管理計画」は示していただけるものですか。

事務局：はい、お示しできます。

議長：本日は、ホール機能を統合した後、ホールを有効活用するか、有効活用しないかという

選択肢の中で、審議会としては、有効活用するということで合意したということでもいいでしょうか。

お金をかけずに有効活用するとしたら、「舞台」部分をリハーサル室と同じような活用法くらいでしょうか。有効活用する上での最低限の費用については、今後の方針と同時に算定されると思います。

皆さんから出たご意見で、次回の審議会までに、事務局に「福津市公共施設等総合管理計画」、昨年度のホールに係る収入及び費用の金額が分かる資料を準備していただきます。費用については、電気料金など細かく分けることができないものもあると思うので、概算の金額でいいです。また、舞台の照明や吊り物を撤去する費用についても、概算で良いので教えてください。最後に、ホール機能を統合した後、削減した予算を基金のような形で運用することができるのかどうかについて、財政部局に確認しておいてほしいということでしたので、よろしくお願いします。

事務局：ご依頼の資料、数字については、次回の審議会までに揃えたいと思います。

議長：事務局より、必要資料、金額等の情報を提供していただき、答申案を考えさせていただきます。次回は、その案を基に、審議会として絞り込んでいき、答申の内容を固めることができましたと思います。

（２）その他

特になし

議長：本日予定の議事は、全て終了しましたので、議事進行を事務局にお返しします。

事務局：次回の審議会ですが、１１月１日（金）午後１時３０分からを予定しております。これをもって、令和６年度第２回公民館運営審議会を終わります。ありがとうございました。